



HP <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/himega-s/>

1月

学校だより/姫川原小



世に筆を魂

明けましておめでとございませう。
姫川原小学校 最後の一年を迎えます。
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新年を迎え、二日目、全校で書き初め大会を行った。いつもは賑やかな子どもたちも、この時ばかりは、一言も発せずに最後まで集中力がきれなかった。寒さと静寂を体感じながらの三枚の清書。凜としている空気が体育館を包む。「魂を筆にのせて書く」イメージでしかない表現だが、新しい年を迎えたからこそ、気持ちを新たに清らかな気持ちで臨む心持ちが、生まれていったのだろう。いつもになくこの言葉をかみしめ、今までにない最高の作品となった子どもたちが大半だった。

時を違えて、書道繋がり話題で二学期の終業式に、六年生が群読した福沢諭吉の「天地の文」のことである。これは習字の手本として活用し、子どもたちの理解を深めたようだ。内容は、月の満ち欠けを基にした太陰暦から西洋の太陽暦に切り替えられた明治の初めに、子どもたちに分かりやすく人の暮らしの基本となる決め事を説明している文だった。

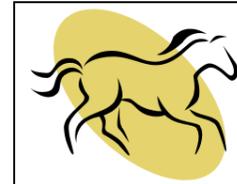
「天地日月。東西南北。略」

春夏秋冬三月つち合わせて三百六十日、一年一年又一年、百年三万六千日、人生わずか五十年、

稚き時に怠たらば老いて悔ゆるも甲斐なかるべし。」
年をとってから後悔しないためにも、子どもの頃から努力の大切さを最後に説いていた。繰り返し書くことを通し、かみしめた明治の子どもたち。いつの世も身に染みる一節だ。



年男年女によるリレー書でスタート 今年もがんばるぞ!



新年の挨拶のあと、昨年同様「十二支のはじまり」の絵本の読み聞かせから始業式をスタートさせました。

今年は、「十干」と「干支」の10と12の組み合わせから、60で一回りする還暦に触れ、「甲午のとし」と書き上げました。「午」は、もちをつく杵を表現している象形文字だそうです。書きながら紙が足りなくなり、伸ばしながら書き繋ぐと、ついに3mを超える大作となりました。廊下に飾られない大きさとなり、用務員さんが体育館のステージに飾ってくれました。

12の干支の絵と、その年のみんなの名前も、今廊下に飾られています。廊下を通りながら、干支の動物と友だちの名前を照らし合わせ、ふと立ち止まる子どもたちです。

年男・年女が語る

「新年の抱負・頑張ること」

- メディアの時間を減らし、その日に習った学習を忘れないように必ず復習をします。(六年)
- もうすぐ中学生になるので、流されずに全教科集中して頑張ります。(六年)
- 今学期、自主勉強に苦手な社会や漢字を中心に進め、授業進度の速い中学校に向け準備します。(六年)
- 読書を頑張ります。卒業するので、学校の本をたくさん借りて、字の小さい本や絵の少ない本をたくさん読みます。(六年)
- お手本になれる六年生、みんなに好かれる六年生になりたいです。(五年)
- 一日一ページ自主勉強をする習慣を身に付けます。(五年)
- 上手くなってきたピアノを頑張り、今年もコンクールでの入賞を目指します。(五年)
- 地域の方とあいさつをするとき、今年は大きな声であいさつをしていきます。(五年)
- これからは自分から大きな声で挨拶をします。(五年)
- 今年は最高学年としてなかよし班の班長になるから、一・二年生をまとめられるようにしたいです。(五年)

「〇〇行きま〜す！」と声を発し、盛り上げていきます。ギャラリーから、「イエ〜イ」と歓声が。双子の〇〇兄弟。兄から一画目をスタートし、繋いでいきます。今年は先生方も参加し、最終画を弟が気持ちよく決めたという13画のリレー書となりました。

終業式は、楽しい成果発表会でした

終業式は、これまでその学期を振り返っての感想の作文を読む形式でした。昨年より、実際実演したり、映像に撮ったり、見えるように拡大したりする「成果発表会」の形をとっています。2学期末のことですが、一学期と違い、また素晴らしい発表だったので紹介します。



縄跳びの学習が始まった1年生は、〇〇さんが得意技を披露してくれました。始めたばかりなのに数種類の技を覚え、拍手喝采でした。



3・4年生は一緒にの体育授業の効果か、マット運動の学習成果を共に発表しました。左の写真は、〇〇さんと〇〇さんの壁倒立です。右は、〇〇さん他2名が発表したロングダートです。側方倒立回転 1/4 ひねり後ろ向きという技名だそうです。カッコよかったです。

ノートの取り方の成長著しい5年生は、〇〇さんが代表して発表しました。最初の頃に比べ、文字の丁寧さばかりでなく、空間の取り方、色の使い方、自分の考えとの区別等、実際のノートをスクリーンに映しだしました。自主勉強の頑張りが素晴らしかったです。



2年生は、「九九」学年です。代表の〇〇さんが、なかなか覚えられなかった8の段の苦労話から、九九を言えるようになった喜びを発表しました。最後はクラス全員で、6の段から9の段まで確実に唱えました。



6年生の代表は〇〇さんです。最高学年としての頑張りを紹介した後、クラス全員で国語の学習で覚えた古文を群読しました。福沢諭吉の「天地の文」です。七五調のリズムにのり「天地日月 東西南北」と成果を発表しました。

地区雪上運動会 今年は2月15日です

先日、団体長会議を行い、地区雪上運動会について話し合いを持ちました。小学校の子どもたちの滑走競争の他、例年地区が盛り上がる「雪積み競争」を行うことが決定しました。あんちゃ会が発足したので、壮年会と協力して、地域の方々が気軽に参加できる種目を今検討中です。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。どうぞ15日の午後は、学校のグラウンドにお越し下さい。

